

スタンダード版

全般の機能

- Windows® デスクトップ、UNIX®/Linux® や Windows サーバ、IBM® System z プラットフォームに対するデータの可搬性と相互運用性
- i5/OS コマンドが実行できるのであればどこでも起動可能
- EBCDIC/ASCII コードの相互変換（シングルバイトの 10 言語に対応した変換テーブル）
- i5/OS からデスクトップへの転送時に便利な、PKSFX 自己抽出型 ZIP アーカイブファイルの生成
- 32 ビット CRC エラーチェック
- デバイスの自動検出
- 設定やインストールがカスタマイズ可能
- QSYS ファイルシステム内の物理ファイル（PF-DTA）、ソースファイル（PF-SRC）、および SAVF ファイル；IFS、SAVF ストリームファイル、スプールファイルをサポート
- IFS のロングファイル名をサポート
- プログラムメッセージを、印刷出力やメッセージ待ち行列に出力可能
- コマンドライン・インタフェース
- 統合されたヘルプ機能

セキュリティ機能

- パスフレーズ(パスワード)による暗号化
- 暗号化のエンジンには実績と信頼性のある RSA® BSAFE® を採用し、AES（FIPS 197 準拠）と 3DES アルゴリズムによる、ファイルとファイル名の暗号化が可能
- 各種プラットフォーム上の SecureZIP によって、X.509 デジタル証明書やパスワードを使用して暗号化、署名された ZIP ファイルに対して、復号化と認証が可能

圧縮機能

- 1Step2Tape 機能* により、ディスクへの一時書き出しを行わず、単一ステップにて直接テープに書き出すことが可能
- ファイルサイズを最大 95% 縮小
- 9 エクサバイトまでの大規模サイズのアーカイブをサポート
- 複数の圧縮フォーマットをサポート
- GZIP 互換機能

* 1Step2Tape 機能

- 単一ステップで直接テープに情報を移動することにより、転送時間を大幅に節約。SAVF と ZIP 機能が単一ステップに統合
- I/O と DASD リソースの大幅な節約
- ジョブステップ間でデータを移動させるための余分な I/O を削減

エンタープライズ版 — スタンダード版の機能に高度なセキュリティ機能をプラス

高度なセキュリティ機能

- PKI 環境と非 PKI 環境との間を埋めるために、デジタル証明書による暗号化とパスフレーズによる暗号化の両方を装備
- 証明書ベースの暗号化は、AES もしくは 3DES アルゴリズムを使用
- 秘密鍵は安全に格納
- ファイルのデジタル署名と署名の検証
- 証明書失効リスト (CRL) チェックにより、ファイルの署名と暗号化の有効性を検証

ディレクトリ統合機能

- デジタル証明書が格納されている Microsoft® Active Directory® や iPlanet™ などの LDAP 準拠ディレクトリに対するアクセス
- 共通名またはメールアドレスを元にして、暗号化に必要な受信者の公開鍵を LDAP 準拠ディレクトリから取得可能

システム最小要件

- V5R1M0 またはそれ以降